

施設評価

西保育園

今年度の評価項目	見えてきた課題/日常の意見・課題	振り返りを踏まえた改善内容	年度末時点での改善の進捗状況
保育・子どもに関する項目	子どもたちがより過ごしやすい環境構成を作りたい	あそび場プロジェクトチームを作り、子どもたちが柔軟に遊べる環境を作った	完了
	姉妹園との交流がしたい	・移動動物園に呼んでいただき動物と触れ合うことができた ・散歩でフレンドに行き園庭で交流ができた。 ・職員同士の行き来の機会(研修・打合わせ)を意図的に作り、様々な交流の土台作りを行った	完了
	園で植え収穫した野菜で子どもたちと何か作りたい	管理栄養士・担任と一緒に玉ねぎスープやピザを作った	完了
	異年齢児交流を増やしていきたい	今年度はクリスマス会前後から縦割りグループを作り、異年齢児交流を行ってきたが、来年度は早い時期から縦割りグループや交流をしていく計画を立てた	2025年度継続 クラス会議で意見を出し合い、会議(屋礼、職員会議)で、展開していく
	子どもの生活の自立のための援助をより丁寧に行いたい(着替・食事・排泄など)	子ども達と丁寧に関わるために、乳幼児期に特定の保育者と早期に愛着関係を作ることで信頼関係が構築できる育児担当制を一部のクラスで取り入れた。 一人一人の子どもに合わせた生活スケジュール表(日課)を作成した	2025年度継続 乳児全体で育児担当制を取り入れていく
	乳児期の食事前エプロン 自分で着脱できるようにしていきたい	子どもの自立を促す保育のためにおりこうエプロン(乳児でも自分で着脱できるエプロン)の推進をした	2025年度 0.1歳導入予定
	出産後の保護者だけでなく、地域の産前産後の方々に向けた取り組みも、より積極的に行っていきたい	これまで親子ヨガなど実践してきた。新しい取り組みを実践した	2025年度継続
	保護者と一緒に楽しめるイベントを年一回取り入れていきたい	保護者参加型の夏祭りを行った	2025年度継続 各クラスでアイデアを出し合い、クラス会議、屋礼、職員会議で検討決定していく。
	天気も良く外が心地よい季節なので外で給食を食べられるようにしたい	調理の方と話し合い、外で食べることに承諾いただく実施の場合は調理の方と連携を取り、中庭で青空レストランを実施した	2025年度継続 気温と大気(黄砂、PM2.5等)とアレルギー食に配慮して実施を継続。食中毒の発生の知識等を研修して安全意識を高めながら、継続実施していく
保育・園児に関する項目以外	更新機器	・こども用・大人用トイレ 追加設置工事 ・布団ダンス 交換 ・乳児用シャワー 交換 ・絵本 追加	完了
	親子わくわくひろばでHP・Instagramを活用していきたい	親子わくわくひろばの予定をHPとInstagramに掲載し、保育の様子もアップし活用の定着を図った	完了
	クラスで話し合う時間を取りたい	2025年度は、毎月1回全クラス会議ができるようスケジュールを確定した	完了
	防災訓練を増やしていきたい	月に1回の避難訓練だけではなく、AEDの講習・警察による不審者対応の講習を受講した	完了
	アレルギー児だけでなく個別対応がいる子ども(痙攣や薬の塗布、肘抜けしやすい、チックなど)をより分かりやすくまとめた	子どもの顔写真付きの資料を作成し、今まで以上に分かりやすく職員で共有した	完了
	子どもの食事の様子を保護者に見ていただきたい	玄関にフォトフレームを置き日々の食事の様子をスライドショーで流すようにした	完了
	業務の効率化を図りたい	重複した項目を削除するなど各種書類の変更を行った	完了

保育・子どもに関する項目	問題・課題	改善内容（改善の方向性）
<p>① あそび場プロジェクト</p>	<p>もっと子どもたちが過ごしやすいと自発的に遊べる環境を作りたいという声から、「あそび場プロジェクト」を立ち上げました。</p>	<p>自薦他薦により有志の「あそび場プロジェクトチーム」が作りました。 （イラスト1） 0歳児クラスの空き空間を園児たちが楽しく安全に遊べる空間へと職員たちで作り変えました。 子どもたちが楽しく遊べる空間に大変身しました。 （写真1&amp;イラスト2）</p>
		
<p>イラスト1</p>	<p>写真1</p>	<p>イラスト2</p>

保育・子どもに関する項目	問題・課題	改善内容（改善の方向性）
<p>② 青空レストランを実施</p>	<p>天気も良く外が心地よい季節なので外で給食を食べたりしたいと声が上がりました。</p>	<p>外で給食を食べると気持ちもよく食の増進に繋がります。給食室と話し合い、安全・安心に配慮して、中庭に青空レストランをオープンしました。（写真1）いつもより子どもたちは食欲モリモリで楽しそうでした（イラスト1&amp;2）。今後も子どもの笑顔が増えるよう保育を充実していきます。</p>
 <p>写真1</p>	 <p>イラスト1</p>	 <p>イラスト2</p>

保育・子どもに関する項目	問題・課題	改善内容（改善の方向性）
<p>③ 乳幼児の食事用エプロンの導入</p>	<p>乳幼児自身で、食事用エプロンを自分で着脱できるようにしていきたいという声が上がりました。</p>	<p>「おりこうエプロン」は首にかける紐のところがゴムになっており、乳幼児でも自分一人で着脱しやすく（写真1）、首に掛ければそのまま手や口元についた汚れを拭き取ることができます（写真2）。一人で行えることを増やしていくため「おりこうエプロン」の推進を図りました。今後も自立を促す保育を段階を追って深めていきます。</p>
		
<p>写真1</p>	<p>写真2</p>	<p>写真3</p>